

令和6年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・身近な動植物に関心をもち、意欲的にかかわることができた。また、観察して気付いたことを文章で表すときには国語科で学んだ観察の視点やメモを取ることを生かし、見付ける・比べる・例える等の方法を用いて表現しようとすることができた。
- ・2年生では町探検や町の人へのインタビューを通して地域の良さに気づき、自分の暮らしている地域に愛着をもつことができた。
- ・季節遊びや昔遊びでは、1、2年生ともに身近な人々と関わり合いながら、そのよさに気づき、学習に取り組むことができた。
- ・遊びに使うものを工夫して作り、友達と関わり合いながら遊びを楽しむことができた。

(2) 課題

- ・公共の場所での行動や自分の周りの環境を理解して、安全で適切な行動をとれるようにしたい。
- ・変化や成長の様子を比べたり予想して見通したりしたことを伝えるための表現方法をより豊かにしたい。
- ・自ら遊びに使う物の面白さや自然の不思議さ、面白さに気付けるようにしたい。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に関わる活動を通し、家族や学校の教職員、上級生や友達など、様々な人や施設とかかわっていることを理解させる。 ・校外や校庭での体験学習、植物の栽培を通して、自分と身近な動植物とのかかわりに関心をもち、自然の不思議さやすばらしさに気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長を支えてくれた人の存在に気づき、感謝の気持ちを自分なりの方で表現し、伝えられるようにする。 ・一人一人が自分の発見や思いを話せるように励ます。自然のもので遊んで工夫できるようにする。 ・「見る（大きさ・形・色等）」「触る」など、具体的な観察の視点を意識させ、動植物の変化の様子に気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオのつるを使ってリースを作る、新一年生に種をプレゼントするなど、生活科の学習の中で系統的に活動を工夫し、次の学習へ向けて意欲をもたせる。 ・児童の思いや願いを生かした活動を設定し、児童が主体的に活動できるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・町探検や町の人へのインタビューを通し、地域のよさに気付かせる。また、公共物や公共施設を利用する活動を通して、正しい使い方や適切な行動ができるようにする。 ・学校にいる生き物や植物について、実際に観察するとともに、本やインターネットで調べること、気づきや知識を増やす。 ・自己の成長を振り返り、できるようになったことに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や自然の学習を通して生き物の成長には一定の決まりがあることに気づき、考えられるようにする。 ・観察の際には「大きさ」「形」「色」「手触り」などの観察の視点を意識させ、動植物の変化の様子に気付けるようにする。 ・他教科との関連を図り、合科的な指導を行うことで、社会科や理科、総合的な学習の時間等の中学年の学習へとスムーズにつながるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜や生き物を育てることで、自分の野菜である意識をもたせ、学習への意欲を高める。 ・めあてを明確にし、一人一人が達成感を味わいながら、自己調整しながら学習する場を設定する。 児童の思いや願いを生かした活動を設定し、意欲を持続させ、一人ひとりが主体的に行動するよう声を掛ける。